

## 「みんなでつくる共生社会シンポジウム」についてのご案内

国連も推進している共生社会の実現に向けて、ここでは障害者の就労や支援の情報を参加者間で共有することを目的としたシンポジウムを開催します。共生社会とは、「これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。（文部科学省）」を指します。

このシンポジウムでは、社会福祉法人や障害者支援団体、障害者雇用のノウハウを持つ特例子会社、支援技術の教育研究を行う高専など、福・産・学の領域を超えた協働・共創により、支援機器キット製作教室、福祉情報技術に関するセミナー、講演を通して市民と一緒に共生社会について考えようというものです。シンポジウムは、参加費無料、当日参加も可能（事前申込み優先）ですので、みなさまの参加をお待ちしております。

**題名：みんなでつくる共生社会シンポジウム**

**日時：2018年1月27日（土）9:30-17:45**

**場所：ハピリンホール（JR 福井駅隣接 ハピリン福井 3F）**

**主催：徳山工業高等専門学校、熊本高等専門学校、福井工業高等専門学校 後援：福井大学**

### **第一部 ワークショップ(10:00-12:00)・セミナー(9:30-12:30)、講演(10:00-11:00)**

#### **①ラッチ&タイマー製作教室(教材費約 6,000 円無料)[定員 8 名]**

スイッチを押し続けることが難しい場合に、スイッチを一定時間 ON にしたり、押し続けなくてもスイッチ ON を継続させたりする装置です。 ※半田付け等の簡単な電子工作作業を行います。

#### **②タッチカラーセンサー製作教室(教材費約 8,000 円無料)[定員 8 名]**

色を知りたい物にセンサーを近づけると音声で物の色を伝えるアプリです。視覚に障害を持った人の色識別を音声ガイドにより支援するセンサーです。 ※半田付け等の簡単な電子工作作業を行います。

#### **③テレワーク相談・実演[定員 10 名]**

本社社員と在宅勤務者 40 名が常時接続型多地点コミュニケーションシステム「ワークウェルコミュニケータ」により楽しく仕事をしている沖ワークウェル株式会社により、実際の在宅勤務の様子を体験できます。また、テレワークについて相談もできます。 ※土屋竜一著『障害者が思いっきり仕事できる日本でいちばん働きやすい会社 ～OKI ネットワーカーズ物語～』中経出版（2010）

#### **④福祉情報技術コーディネーターテキストに学ぶ AT スキルセミナー(教材費約 2,300 円無料)[定員 20 名]**

（一社）日本支援技術協会事務局長である田代洋章氏を講師にお迎えし、表題のテキストを利用して、障害特性や福祉用具の知識などを体系的に学べます。パソコンにある便利機能も紹介します。 ※ノート PC をお持ちの方はご持参下さい（ノート PC がなくても参加できます）。

#### **○各種紹介コーナー**

・バリアフリーオフィス（大阪府八尾市）会社紹介・障害者の働き方紹介

障害を越えてホームページ制作・システム開発・データ運用・障害者雇用コンサルタント事業を展開

しているバリアフリーオフィス代表山中康弘氏による会社説明です。

・ **金属バイオリン展示（写真撮影可）**

新幹線や鉄道車両の先頭構体の 3 次元板金成形をハンマーで行う職人が集う株式会社山下工業所（山口県下松市）の会社紹介と人と異なる特性や感性を持つ職人の手による金属製バイオリン展示です。

・ **自作スピーカー展示**

徳山高専・親子製作教室で大人気！音声領域をクリアに聴ける格安 1 人用スピーカーを展示します。

○ **講演[定員 150 名]**

- ・ **発達障害児者の個人特性に応じた教育支援システムの開発研究（福井高専・福井大学・ミテネインターネット株式会社）**：現在、普通学校において合理的配慮を必要とする多様な子どもの特性に応じた教育・支援が課題となっています。子供たちの支援用に開発している ICT を用いた教育支援システムについて紹介します。
- ・ **障害のある児童生徒を対象としたプログラミング教育実証事業（福井大学・ミテネインターネット株式会社・福井高専）**：地元の福祉事業者等をメンターとして、発達障害の特性に応じた 3DCG のプログラミング教材の開発・実践により、プログラマーの育成と就労支援につなげる試みを紹介します。

**第二部 講演(13:00-16:40) [定員 150 名]**

「LD 親の会」「全国 KOSEN 支援機器開発ネットワーク」「社会福祉法人太陽の家」「株式会社サンキュー・ウィズ（山九株式会社の特例子会社）」「株式会社沖ワークウェル（沖電気工業株式会社の特例子会社）」「オムロン京都太陽株式会社（オムロン株式会社の特例子会社）」「ソニー・太陽株式会社（ソニー株式会社の特例子会社）」による講演です。これだけの団体・企業の講演を一度に聴ける機会は全国的に稀なことです。ここでは、特例子会社の障害者雇用のノウハウをもとに生み出された仕事の切り出し、社員のキャリアアップ、加齢問題への対応、QOL 向上活動、経営の工夫など、あらゆる職場において活用できるアイデアや工夫をご紹介します。

**第三部 市民対話(16:50-17:45) [定員 150 名]**

全員参加型の共生社会の実現に向けて、講演者をパネリストとして、パネリストーパネリスト間、パネリストー会場参加者間との質疑応答などを通じた対話を行います。今後のネットワーキングにもご活用いただけます。

こちらからお申込みできます→

[お問い合わせ先]

徳山工業高等専門学校 地域連携推進係

TEL 0834-29-6227 mail: tiren@tokuyama.ac.jp



※このシンポジウムは、科学技術振興機構科学技術コミュニケーション推進事業未来共創イノベーション活動支援事業「共生人材育成エコシステムの構築」、文部科学省「平成 29 年度専修学校による地域産業中核的人材養成事業」、総務省戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)「発達障害児者の個人特性に応じた教育支援システムの開発研究」、総務省若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業「障害のある児童生徒を対象としたプログラミング教育実証事業」によるものです。